

濃尾地震とは

● 概要

明治24年(1891年)10月28日

午前6時38分頃

震源地：岐阜県本巣郡根尾谷(現在の本巣市根尾)

マグニチュード8.0

最大震度 震度7相当

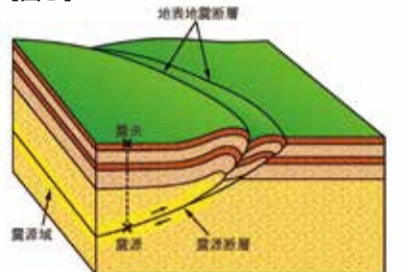
1891年(明治24年)10月28日午前6時38分頃、中部地方は激しい揺れに見舞われました。震源地は岐阜県本巣郡根尾谷で地下の岩盤が福井県南部から岐阜県を縦断、愛知県に至る長さで崩壊し、その断層は地表面に出た部分だけでも約80kmにも及びました。濃尾断層帯内の根尾谷断層帯が活動した典型的な内陸地殻内地震(いわゆる直下型地震)であり、地震の規模はマグニチュード8.0より大きいとされ、これは記録が残っている日本の内陸域で発生した地震としては観測史上最大の地震となりました。

【図1】根尾谷断層の様子

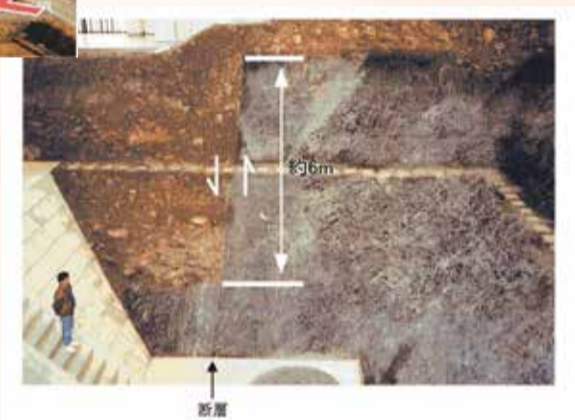


根尾谷断層(岐阜県本巣市根尾村水鳥)は上下差6メートル、横差4メートルにも及びました。この地震の規模が如何に大きかったかを示す象徴的な変位とされています。

【図3】



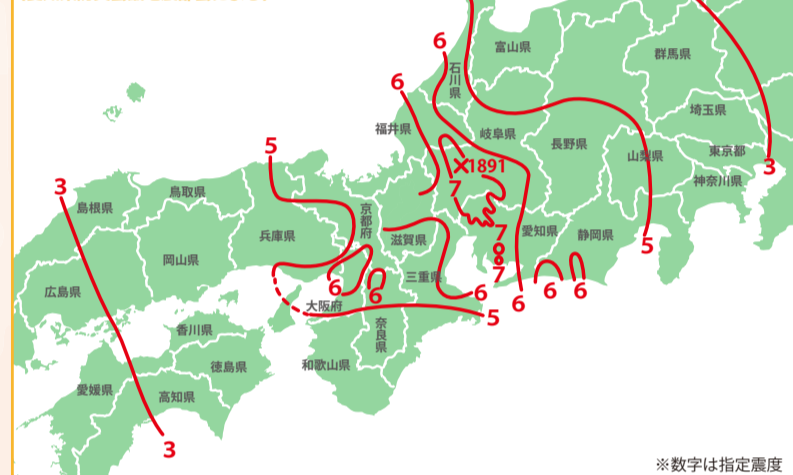
地震を起こした地下の断層を「震源断層」、そのときの断層運動に伴って地表に達した食い違いを「地表地震断層(地震断層)」と呼びます。



【図2】根尾谷地震断層観察館

濃尾地震による震度分布

(愛知県防災会議地震部会による)



※数字は指定震度

出典

【図1】【図2】…「活断層(断層のずれの写真)」(本巣市教育委員会)

地震調査研究推進本部 HP「素材集」よりダウンロード (<https://www.static.jishin.go.jp/resource/figure/figure005016.jpg>)

【図3】…「地表に現れた断層と地表に現れていない断層」(地震調査研究推進本部)

地震調査研究推進本部 HP「素材集」よりダウンロード (<https://www.static.jishin.go.jp/resource/figure/figure005017.jpg>)

【図4】…「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 平成18年3月1891濃尾地震」(内閣府)

地震調査研究推進本部 HP「素材集」よりダウンロード (http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeshou/rep/1891_noubi_jishin/pdf/1891-noubi_JISHIN-1.pdf)を加工して作成

被害の概要

震源断層付近と濃尾平野北西部の震度は現在の「震度7」に相当する激しさで、その揺れは福井、滋賀、長野、三重、静岡県、大阪、京都府など多くの地域に及びました。

被害は岐阜・愛知の両県を中心として全国で死者7,000人以上(主に圧死、焼死など)、倒壊家屋は14万2千戸以上に達しました。



写真左：
岐阜県羽島郡笠松町の焼け跡

写真右：
濃尾地震直後 岐阜県本巣郡北方町

写真出典：岐阜地方気象台